

西宮市子ども・子育て支援プラン（素案）に対する
意見提出手続（パブリックコメント）の結果について

こども支援局 子供支援総括室 子供支援総務課

「西宮市子ども・子育て支援プラン（素案）」に対するパブリックコメントの結果及び市の考え方について

平成29年12月19日（火）から平成30年1月25日（木）にかけて実施した意見提出手続（パブリックコメント）について、64名から112件のご意見をいただきましたので、意見の概要とそれに対する市の考え方を公表します。

1. 意見提出者 64名（男性：9名、女性：53名、不明：2名）

【内訳】

年 代 別	
20代	13人
30代	17人
40代	11人
50代	8人
60代	5人
70代	0人
不 明	10人

居住地域別	
本 庁	23人
鳴 尾	5人
瓦 木	4人
甲 東	7人
山 口	0人
市 外	16人
不 明	9人

提出方法別	
郵 送	1人
電子メール	10人
ファックス	43人
窓 口	10人

2. 意見件数

内 容		件 数
■第3編 計画の基本的な考え方（基本理念、基本的な視点に関すること）		6件
■第4編 重点施策	【乳幼児期】教育・保育環境の充実に関すること	75件
	【学童期】放課後の子供の居場所の充実に関すること	3件
	障害のある子供への支援の充実に関すること	7件
	子育ての不安・負担の軽減に関すること	5件
	子供の貧困対策及びひとり親家庭支援の充実に関すること	2件
	ワーク・ライフ・バランスの推進に関すること	1件
■計画全般に関すること		4件
■その他		9件
合 計		112件

「西宮市子ども・子育て支援プラン（素案）」パブリックコメントの回答分類

分類番号	分 類	内 容	意見番号	件 数
①	素案に盛り込み済み	意見内容が既に計画に盛り込まれているもので、特に修正を必要としないもの。	1～2、4、7、11、24～26、31～32、36～40	30件
②	意見を反映	意見内容をもとに、計画内の文章の修正や追加等を行ったもの。	21、35	2件
③	今後の検討	意見内容については、課題として認識しており、計画を進める際に検討していくもの。	8、10、18、23、33、44	43件
④	今後の参考	今後の参考とするもの。	5～6、9、12、14～17、19～20、22、27～30、41～43	31件
⑤	対応が困難	対応が困難なもの、市の考え方と方向性が合致しないもの。	3、13、34、45～47	6件
合 計				112件

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
第3編 計画の基本的な考え方					
1. 基本理念 2. 基本的な視点					
1	子供中心に考えるという視点は大切である。	4	今後も「子供が輝くまち・人にやさしいまち にしのみやへ～子育てするなら西宮～」を基本理念に幅広い施策の展開を図るとともに、子供の視点に立った取組みを進めてまいります。	27	①
2	施設の充実、マンパワーの充実、子育てに関わる大人がゆとりと夢をもって子供に関わる西宮になるべきである。	1			①
3	公園は少ないし、遊具はボロボロな状況にも関わらず、「子育てするなら西宮」というキャッチコピーを掲げる市政に疑問を感じる。	1	<p>遊具等の安全管理については、委託業者による10日に1回の目視点検に加え、3年に1回有資格者による精密点検の実施及び、職員による巡視を徹底するとともに、市民の方からの通報のご協力をいただきながら、安全にご利用いただけるよう施設の補修及び改修に努めております。</p> <p>今後も基本理念（めざすべき姿）に掲げる「子供が輝くまち・人にやさしいまち にしのみやへ～子育てするなら西宮～」の実現に向けて取組みを進めてまいります。</p>	27	⑤
第4編 重点施策					
1. 【乳幼児期】教育・保育環境の充実					
4	保育所を整備してほしい。	11	待機児童の解消だけでなく、希望どおりに入所できなかった方の解消もめざし、保育所整備を中心に入所枠の確保に努めてまいります。	36	①
5	週2、3日預けられる保育所がほしい。	1	就労による保育所の申込みは週3日以上かつ週16時間以上勤務している場合に限っています。希望どおり入所できなかった方がおられる中、当面は現在の需要に対応した保育所整備に取り組んでまいります。	36	④

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
6	3歳児以降の入所対策は認定こども園を中心にするべきである。	1	既存の幼稚園から認定こども園への移行を促進することは、3歳児以降の入所対策として有効であると考えておりますが、認定こども園への移行に関しては様々な課題を踏まえ、各施設と十分に協議の上、進めていく必要があります。当面は保育所整備を中心に3歳児以降の入所対策を進めてまいります。	36	④
7	市の財源を保育士の人材確保に使用してほしい。	1	保育士資格の取得助成や保育士就職フェア、保育士リクルートバスツアーの開催により、保育士確保に引き続き取組むほか、国基準を上回る保育士の配置基準や宿舍借り上げに対する補助、業務効率化のためのICTの導入により、保育士が長く仕事を続けられることにつながる仕組みを構築するなど、さらなる保育士確保に取り組んでまいります。	36	①
8	保育士確保のために、保育士の働く環境や人員配置の改善をしてほしい。保育士の処遇改善が必要である。	38		36	③
9	認定こども園の移行促進は、低年齢児の待機児童対策として有効とあるが、3歳児未満の保育は、小規模な施設の方がよい。	1	これまで、待機児童の多くを占める3歳児未満を対象とした地域型保育事業の開設を推進してきましたが、卒園後に保育所などで継続して保育できない、いわゆる3歳児の壁に直面しております。今後は、保育所や認定こども園など就学まで一貫した支援が行える施設の整備を中心に対策を進めてまいります。	37	④
10	夜遅くまで開園している保育施設を増やしてほしい。	1	現在ほとんどの施設で夜7時までの延長保育を実施し、市内1園で夜8時までの延長保育を実施しております。開所時間の延長については、利用ニーズや子供への負担等を検証してまいります。	38	③
11	病児保育が少ないので、施設の転用などし、増やしてほしい。	1	地域偏在の解消に努めるとともに、平成28年度から実施している訪問型病児・病後児保育利用料助成制度の普及に努めてまいります。	38	①

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
12	保育の量的拡大だけでなく、児童の保育環境も充実させてほしい。	11	本市では、児童のより良い保育環境を確保するため、保育室の面積、園庭要件など国基準を上回る面積基準を設け、さらに保育士の配置についても国基準を上回る配置基準を設けています。今後もより良い保育環境の確保に努めてまいります。	-	④
13	就学前教育については、公立を中心とするべきである。	1	今後も公私立が連携し、質の高い幼児教育の提供・推進に努めてまいります。	-	⑤
14	保育の質の維持向上のためにどのような計画が必要か、進捗状況をどのように把握するのか具体的に示してほしい。	2	計画の実施状況等については、「西宮市子ども・子育て会議」で進捗状況を報告し、第三者的な立場から評価、意見、提言を受け、PDCAサイクルに基づいた計画の着実な推進を図ってまいります。	-	④
15	小規模保育施設は園庭代わりに公園を利用しているため、公園の砂場の汚染やタバコの吸い殻等の危険なゴミの除去について対策を行ってほしい。	1	公園内の砂場の衛生管理については、マナー向上のため看板の設置や、利用者の協力が得られる公園には砂場シートを設置する等対応策を講じるとともに、砂場に犬や猫の糞やガラス片の混入等汚染が認められる場合は砂の入れ替え等を行い、衛生管理に努めております。 また、公園の維持管理については、各種地域団体と管理委託契約し、清掃や除草などの簡易的な日々の維持管理についてお願いしているところです。 今後も安全な遊び場を提供できるよう、より一層の安全管理を行ってまいります。	-	④
16	全ての地域型保育事業の施設に耐震化対策を行ってほしい。	1	ほとんどの地域型保育事業所は昭和 57 年以降、いわゆる新耐震基準に基づく建築物となっています。地域型保育事業所は民間の賃貸物件を活用している施設が大半を占めますので、市で耐震化を図ることは困難です。今後、新耐震基準を満たしていない施設から移転等の相談があった場合は必要に応じて対応してまいります。	-	④

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
17	就園奨励助成金制度の多子軽減措置に係る年齢制限の見直しを検討してほしい。	1	国では、2020年に幼児教育の無償化を全面実施するための検討が進められていることから、国の動向について注視してまいります。	-	④
18	保育料が高いため、減額してほしい。	1	保育料の引き下げについては平成27年度に一部の階層で実施しましたが、今後のさらなる保育料の引下げにつきましては、本市の財政状況も踏まえつつ、引き続き検討していきます。また、国では、2020年に幼児教育の無償化を全面実施するための検討が進められていることから、国の動向についても注視してまいります。	-	③
19	公立幼稚園の設備・備品の老朽化対策を行ってほしい。	1	学校園施設・設備の改修要望については、安全性・緊急性の観点から優先順位を決定の上、対応を図ってまいります。	-	④
20	申し込みの人数について全体の人数がわかるようにしてほしい。 保育所の選考結果をもう少し早い時期に発表してほしい。	1	保育所等の申込み状況の情報については、参考となる内容をわかりやすく提供できるよう今後とも研究していきます。 選考結果については、可能な限り早い時期に発表できるように引き続き努めてまいります。	-	④
2. 【学童期】放課後の子供の居場所の充実					
21	放課後の子供の居場所については、計画からは一定の場所での指導者の指示に従い、決められたことをする事業に伺える。大人が遊び方の指導までする必要はなく、場所のみ提供すればよい。	1	<u>ご意見を踏まえ、一部修正しました（素案41ページ）</u> 子供の居場所づくり事業は、放課後の小学校の運動場や教室、公民館等の社会教育施設を活用して子供の居場所となる活動場所をつくり、子供の自主的な遊びや学習を通して子供の育ちを支援する事業として取組みを進めております。不審者への対応や子供たちが危険な行為を始めた際の声かけをするボランティアを配置しますが、基本的には子供たちが自分の責任で自由に遊び・学ぶ空間を今後も提供してまいります。	41	②

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
22	育成センターでの高学年の受入にあたっては、小学1年生と4年生では、発達の段階が違いすぎるため、同じ施設での受け入れには無理があり、発達に応じた環境を整えるべきである。	1	待機児童対策や施設の老朽化対策に伴う施設整備で受入枠拡大を図り、高学年の受入を順次進めているところです。低学年と施設を分けることは難しい状況ですが、男女別トイレの整備や保育の工夫により、子供の発達に応じた支援が行えるよう環境整備を図ってまいります。	42	④
23	育成センターについて、夏休みだけでも、4年生以上の受入を行ってほしい。	1	現在、市内41施設中9施設で4年生を受け入れておりますが、夏休み期間中は利用児童数が増加し、受入施設に加え指導員確保の課題もあることから、全ての育成センターを開放し高学年の受入を行うことは困難です。今後、施設整備を図るほか、受入枠の拡大に繋がる新たな手法を研究してまいります。	42	③
3. 障害のある子供への支援の充実					
24	専門知識を有するこども未来センターが、地域に知識や経験を還元するべきである。	1	こども未来センターでは、保育所や幼稚園、小学校、中学校、西宮養護学校、障害児通所支援事業所など子供が生活する場所に出向き、子供への具体的支援方法や学校園等の支援体制についての助言を行うアウトリーチを実施しております。アウトリーチには、心理療法士やスクールソーシャルワーカーのほか、事案に応じて言語聴覚士や作業療法士、保育士などの職種も含めた体制で実施しており、今後とも、子供たちが日ごろから長い時間生活する学校園などの一層の環境改善をめざしてまいります。	48	①

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
25	こども未来センターと保育所の保育士が人事交流を行ったり、専門性の高い保育士が公立保育所を巡回するなど新しいシステムが必要である。	1	現在、こども未来センター主催の研修や療育公開などに保育所の保育士が参加するなど人事交流を図っております。また、こども未来センターの心理療法士やスクールソーシャルワーカー、保育士などを保育所に派遣し、子供への具体的支援方法や支援体制についての助言を行うアウトリーチを実施しております。	48	①
26	発達障害の可能性のある子供が増えているため、発達支援に力を入れ、サポートできる市の体制になるとよい。	1	障害のある子供が地域の一員として育つことができるよう、学校園での支援体制の充実に加え、こども未来センターの学校園や障害児通所支援事業所などへのアウトリーチや研修、職員の交流、保健福祉センターや医療機関との連携などを通して、地域全体として福祉・教育・医療が連携して切れ目ない支援を行う体制の整備に努めてまいります。	48	①
27	子供が暮らす地域において地域の一員として育つことができるよう、学校現場における障害のある子供への支援も一歩前に進めてほしい。	1	<p>インクルーシブ教育システムにおいては、同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、その時点で教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる、連続性のある多様な学びの場を用意しておくことが必要と考えております。</p> <p>また、こども未来センターでは、保育所や幼稚園、小学校、中学校、西宮養護学校、障害児通所支援事業所など子供が生活する場所に出向き、子供への具体的支援方法や学校園等の支援体制についての助言を行うアウトリーチを実施しております。</p> <p>障害のある子供が地域の一員として育つことができるよう、今後も支援の充実に努めてまいります。</p>	48	④

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
28	学校協力員を特別支援教育支援員がフォローする体制整備を図ってほしい。	1	支援が必要な子供への学校の支援体制につきましては、支援の必要な子供の増加、教育的ニーズの多様化から、現在、特別支援教育審議会で今後の方向性を審議しております。同審議会での審議・調査を踏まえ新しい方向性を検討してまいります。	-	④
29	学校協力員のコーディネートをもう少しサポートしてほしい。	1	学校協力員は、直接子供に係わることから学校長の推薦により配置しております。本年度より、近隣の大学などに呼びかけたりチラシを作成するなど、人材確保に取り組んでおります。	-	④
30	学校協力員の謝礼金を増額してほしい。	1	支援が必要な子供への学校の支援体制につきましては、支援の必要な子供の増加、教育的ニーズの多様化から、現在、特別支援教育審議会で今後の方向性を審議しております。同審議会での審議・調査を踏まえ新しい方向性を検討してまいります。	-	④
5. 子育ての不安・負担の軽減					
31	保護者同士の交流やつながりが持てる場、相談の場が増えるとよい。	2	現在本市では、子育て家庭が気軽にいつでも自由に集い、子育て仲間と交流し、子育てに関する相談や情報提供等の支援が受けられる常設の場として、子育てひろばを整備しており、今後も地域的な状況など必要に応じて整備に向けた検討を進めてまいります。	63	①
32	一時預かりを充実してほしい。	2	保育所新設に併せて、実施施設を整備し拡充に努めてまいります。	64	①

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
33	一時預かり事業について、障害のある子供も利用できる制度になってほしい。	1	障害のある子供の受入にあたっては、職員配置などの課題があり、十分に対応できていない状況です。今後、受入にあたっての支援策などについて検討してまいります。	64	③
6. 子供の貧困対策及びひとり親家庭支援の充実					
34	支援施策の周知方法として「みやハグ」を掲げているが、インターネットや冊子では広報活動の手段としてあまり期待できない。	1	スマートフォンの普及に伴い、情報発信手段の一つとして「みやハグ」の活用を考えており、今後も、様々な媒体を通じて、支援が必要な世帯への周知に努めてまいります。	70	⑤
35	貧困に対しては、専門家を中心としたチームで信頼関係を築いた上での継続的な支援が必要である。	1	<u>ご意見を踏まえ、一部修正しました（素案 72 ページ）</u> 既に家庭児童相談員やスクールソーシャルワーカーが様々な面で課題を抱える家庭に対し信頼関係を築いた上で継続的な支援を行っています。今後、貧困対策を進めるにあたり、より効果的な支援施策を検討してまいります。	72	②
8. ワーク・ライフ・バランスの推進					
36	ワンオペ育児にならないために男性も育児参加がしやすいようにしてほしい。	1	ワンオペ育児については、長時間労働問題やパートナーの単身赴任など様々な要因が考えられます。子育てをしながら働き続けられる環境整備を推進するため、引き続き、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた支援・啓発を進めます。また父親の家事・育児への関心を高めるため、父子手帳の活用や父親対象事業の拡充などの施策も取り組んでまいります。	80	①

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
計画全体に関すること					
計画全体に関すること					
37	子育て・教育の現場の声を計画のP D C Aサイクルの中に取り組む方法を考えてほしい。	1	<p>本計画に基づく事業の実施状況等については、子供の保護者、事業主の代表者、労働者の代表者、子ども・子育て支援に関する事業に従事する者、子ども・子育て支援に関し優れた識見を有する者で構成する「西宮市子ども・子育て会議」で毎年評価を行うこととしております。</p> <p>引き続き、子育て世帯や子育て支援関係者等、幅広い見地から本市の子育て環境等に関する状況、子育ての実態やニーズの把握に努めるとともに計画を推進してまいります。</p>	-	①
38	待機児童、ワークライフバランス、貧困は喫緊の課題と考えるため、早急な行動、確実な結果を求める。	1	重点施策として位置づけ、取組みを推進してまいります。	-	①
39	子供、保護者、保育者が安心して生活していけるようなプランを考えてほしい。	1	今後も「子供が輝くまち・人にやさしいまち にしのみやへ～子育てするなら西宮～」を基本理念に幅広い施策の展開を図るとともに、子供の視点に立った取組みを進めてまいります。	-	①
40	不安を感じながら子育てをしていると子供達がのびのび、すくすくと成長していくことが難しい。子育ての不安を和らげる支援が必要である。	1	本計画では、子育てに関して不安や負担等を感じる人の割合の減少を成果指標として掲げております。本来、子育てが持つ喜びや楽しさを感じることができるよう子育て支援施策のさらなる充実を図ってまいります。	-	①

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
その他					
その他					
41	室内で遊べる施設の設置を民間事業者に働きかけて、増やしてほしい。	1	<p>現在、イオン甲子園店閉店後の新たな商業施設の開業にあたって、子育てひろばなどの子育て支援施設の整備を要望しているところです。</p> <p>今後も、大規模な商業施設等の設置に係る協議の場があった際には、地域の状況に応じて子育て支援施設等の整備を要望してまいります。</p>	-	④
42	子供が走り回ったり、球技ができる大きな公園を整備してほしい。	3	<p>公園では、周囲の安全に配慮するため、硬いバットやボールを使った野球やサッカーの試合など、近隣にお住まいの方や他の利用者に対し、危険・迷惑となる球技は禁止としております。少人数でのキャッチボールやパス回し等、周囲に迷惑とならない範囲であればご利用いただくことは可能です。</p> <p>また公園の新設・整備につきましては、遊具など公園施設の老朽化対策を最優先で取り組んでおり、新規の公園整備につきましては、現在の市の財政状況から困難な状況となっております。</p>	-	④
43	中高生が集い、自由に考え何かを作り出すきっかけとなる場所があるとよい。	1	<p>本市の財政状況から新たな施設整備は困難ですが、既存施設を活用した中高生の居場所づくりについて他市事例等も参考に研究してまいります。</p>	-	④
44	中高生が使いやすい自習室を増やしてほしい。	1	<p>現在、中央図書館や越木岩公民館などに学習室・自習室を設けております。今後は、公共施設の利用状況等を勘案し、自習ができる場所の拡充について検討してまいります。</p>	-	③

意見 番号	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	分類 番号
45	西宮スポーツセンターの卓球場を中学生単独でも使えるようにしてほしい。	1	西宮スポーツセンターにつきましては、公益財団法人西宮スポーツセンターが管理・運営を行っておりますので、事業者へ要望を伝えます。	-	⑤
46	平成 27 年度に実施された兵庫県版ベビー用ギフトカタログ配布事業を継続的に実施してほしい。	1	当該事業については、兵庫県が国の交付金を活用して平成 27 年度限りで実施した事業です。 本市の財政状況から、市独自で事業を継続実施することは困難です。	-	⑤
47	ブックスタートをしてほしい。	1	本市ではブックスタート事業の一環として、妊婦や赤ちゃんを対象とした絵本の紹介や読み聞かせを実施し、乳児の 4 か月健診時には、0 歳から始める読み聞かせという趣旨で選定した絵本のリスト「絵本のゆりかご」を保護者全員に配布しています。	-	⑤